

2024 年冬季賞与の道内企業の動向調査

冬のボーナス、道内企業の 24.6%で支給額「増加」

～ ボーナスがある企業は 84.7%に上昇 ～

国内景気の行方を左右する個人消費の動向。2024 年の春闘では、大企業において満額回答が相次いだものの、中小企業の賃上げは見劣りする一面もあった。物価の上昇スピードに賃上げが十分に追いつかない状況は、家計の節約志向が高まる背景となっている。2025 年の景気回復につながる年末商戦における冬のボーナスへの注目度は一段と高まってきた。

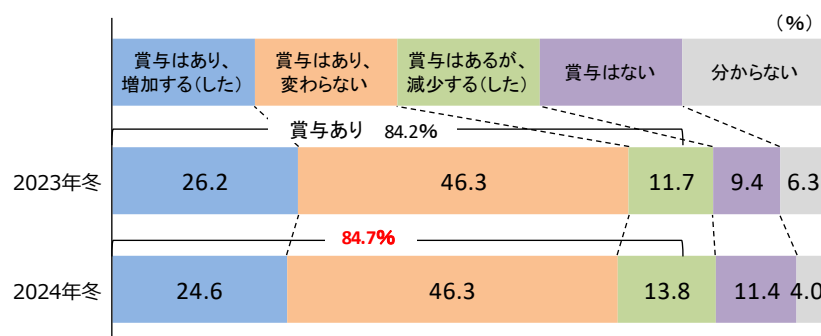
こうした背景を受けて、帝国データバンク札幌支店は 2024 年冬季賞与の道内企業の動向について調査を実施した。

※ 調査期間は 2024 年 11 月 18 日～11 月 30 日、調査対象は北海道 1,134 社で、有効回答企業数は 501 社（回答率 44.2%）。

1. 冬季賞与の 1 人当たり平均支給額が前年より「増加」する企業は 24.6%に微減

道内企業の 2024 年の冬季賞与（ボーナス、一時金、寸志など含む）の従業員 1 人当たり平均支給額をみると、「賞与はあり、増加する（した）」企業は 24.6%であった。前年（26.2%）から 1.6 ポイントの微減となった。一方で、「賞与はない」企業は 11.4%だった。特に「情報サービス」は 50.0%と突出して高く、半数の企業が賞与を支給しない状況となっている。冬季賞与が 2 年連続で増加する企業は 13.3%で、前年から 1.6 ポイント上昇した。

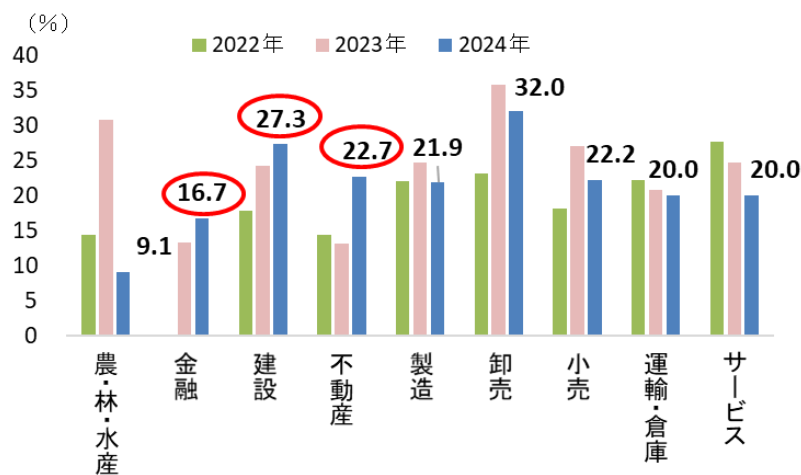
【道内企業の冬季賞与の支給状況（1 人当たりの平均）】



2. 冬季賞与が「増加」する企業の割合、前年より高まったのは 9 業界中 3 業界にとどまる

業界別の動向をみると、冬季賞与が「増加」する企業の割合が前年より高まったのは、9 業界中、『金融』『建設』『不動産』の 3 業界にとどまった。2024 年の割合が最も高かった『卸売』の企業からは、「札幌市内、北広島市、恵庭市、千歳市等で商業施設等の建設が続いており、景況感はやや良い」（建材・家具、窯業・土石製品卸売）との声が聞かれた。

【冬季賞与が「増加」する道内企業の割合（業界別）】



2024 年の冬には、道内企業の 84.7% がボーナスや一時金など何らかの形で賞与を支給する予定である。2025 年以降は飲食料品など生活必需品の値上げが続くと予想されるなか、企業が家計の購買力に直接影響するボーナスを支給する原資を増やすための経営改善を進めることで、消費活性化の一助となることが期待される。

株式会社帝国データバンク 札幌支店

【問い合わせ先】 情報部 011-272-3933

担当：渡辺、柳澤、松田

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。